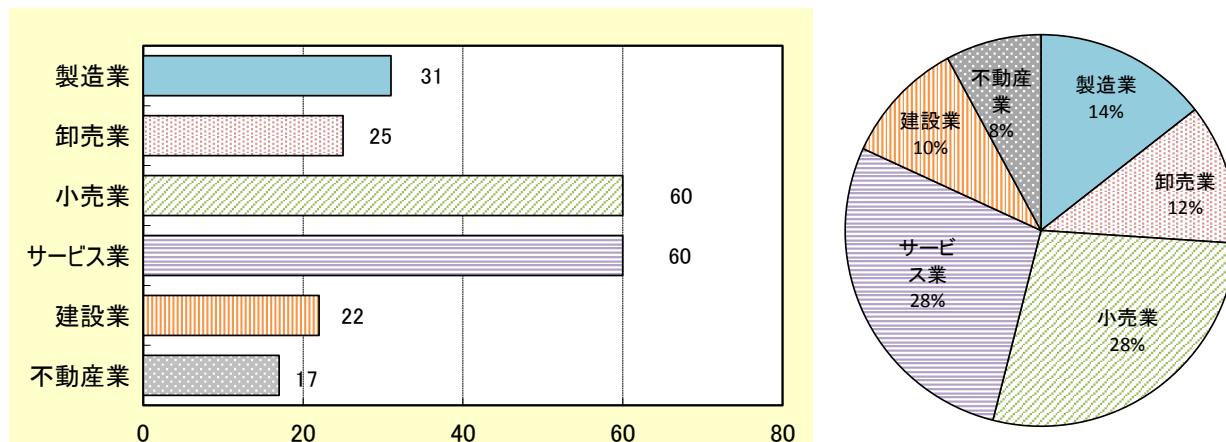


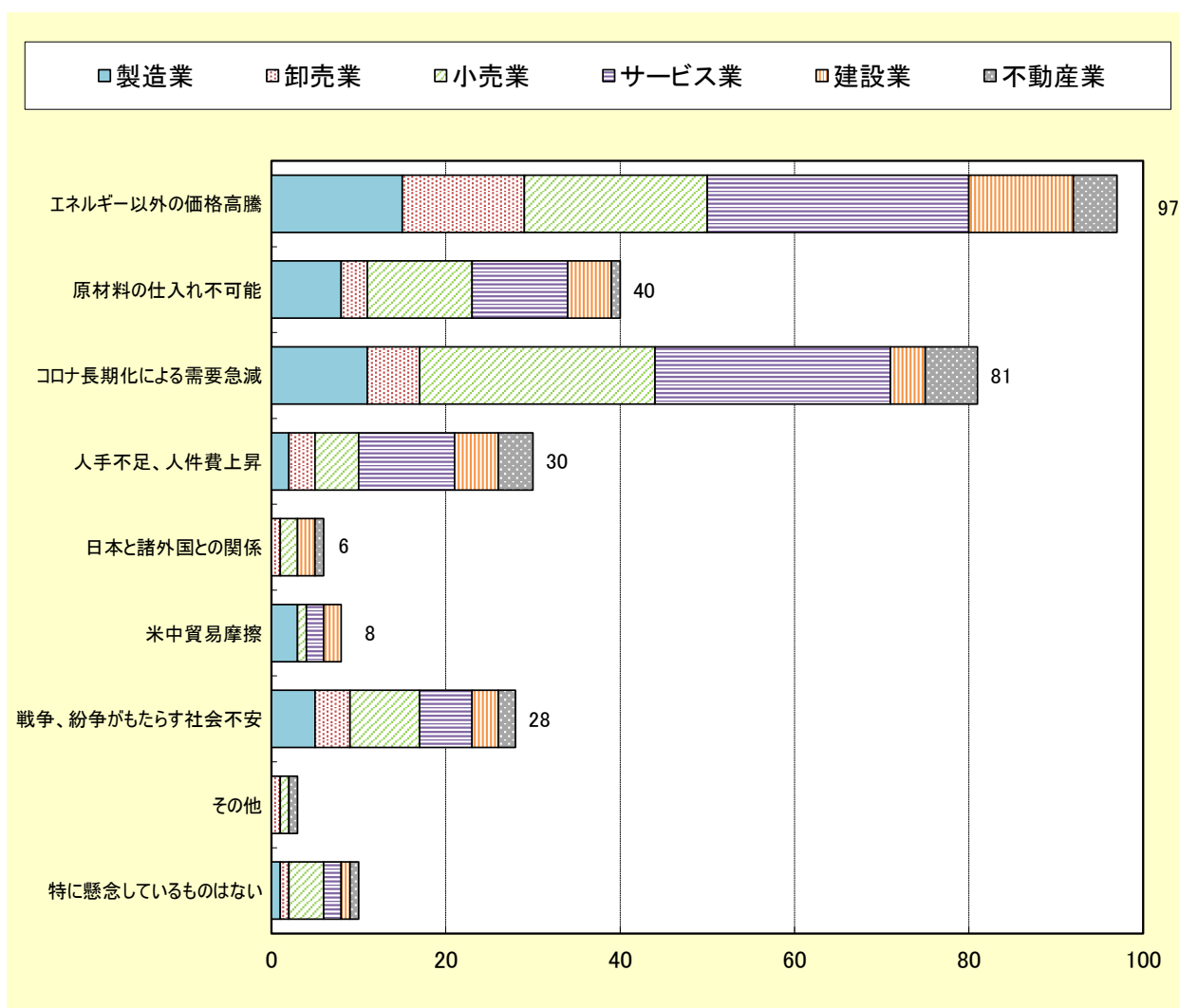
混迷する経済社会情勢と中小企業経営  
 -コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて-

2022年4月～6月期 景気動向 特別調査 調査先215先

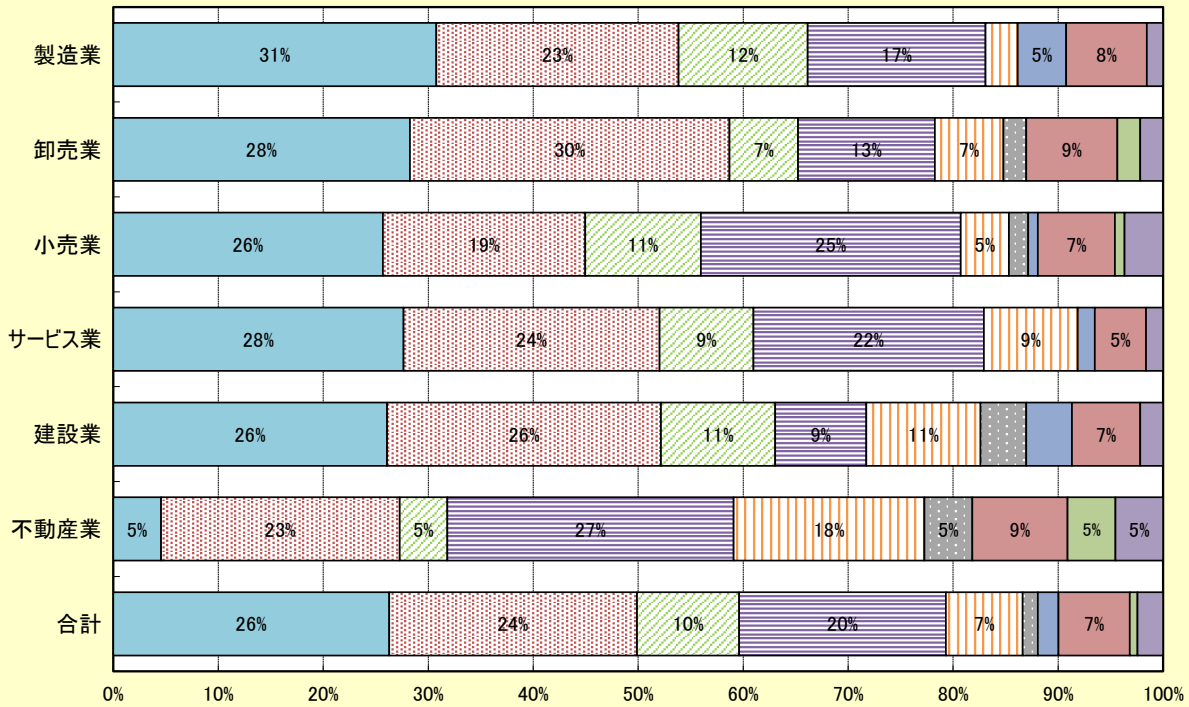
基本情報 調査先の業種別構成比



問1. 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。

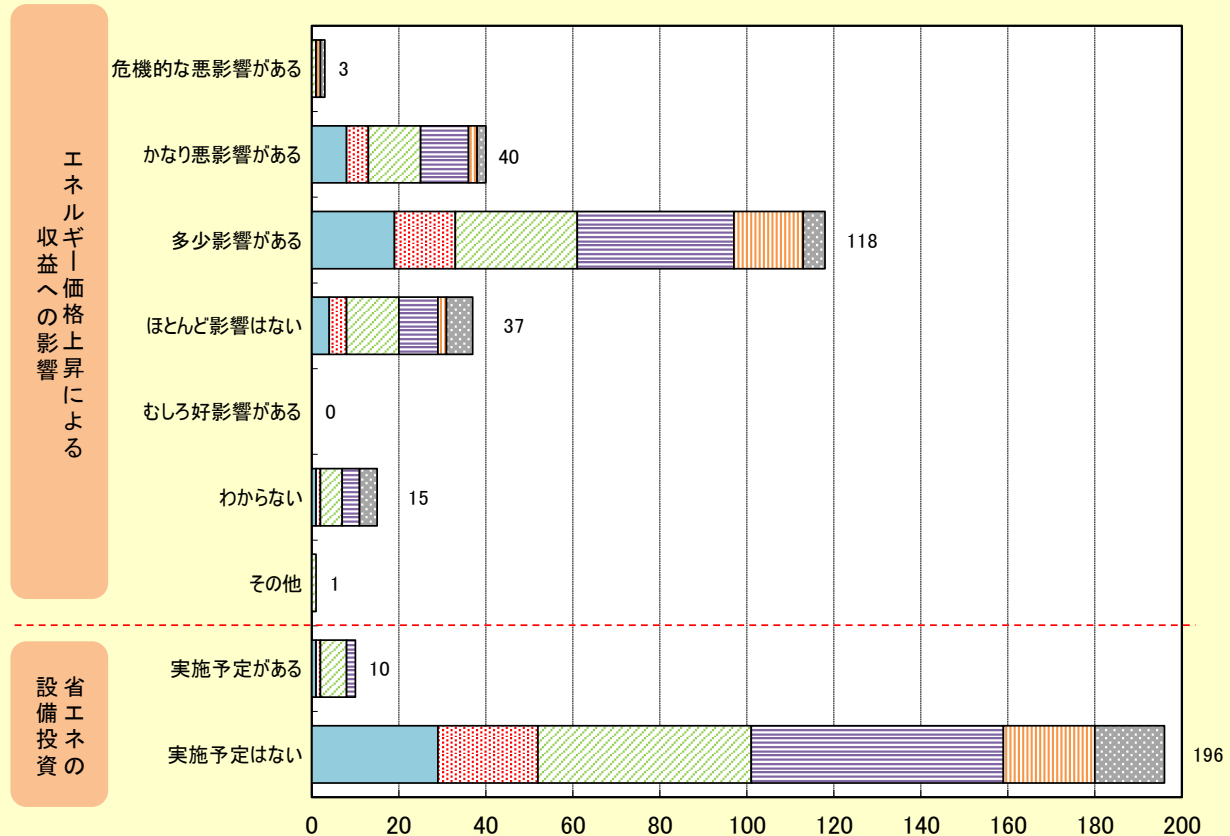


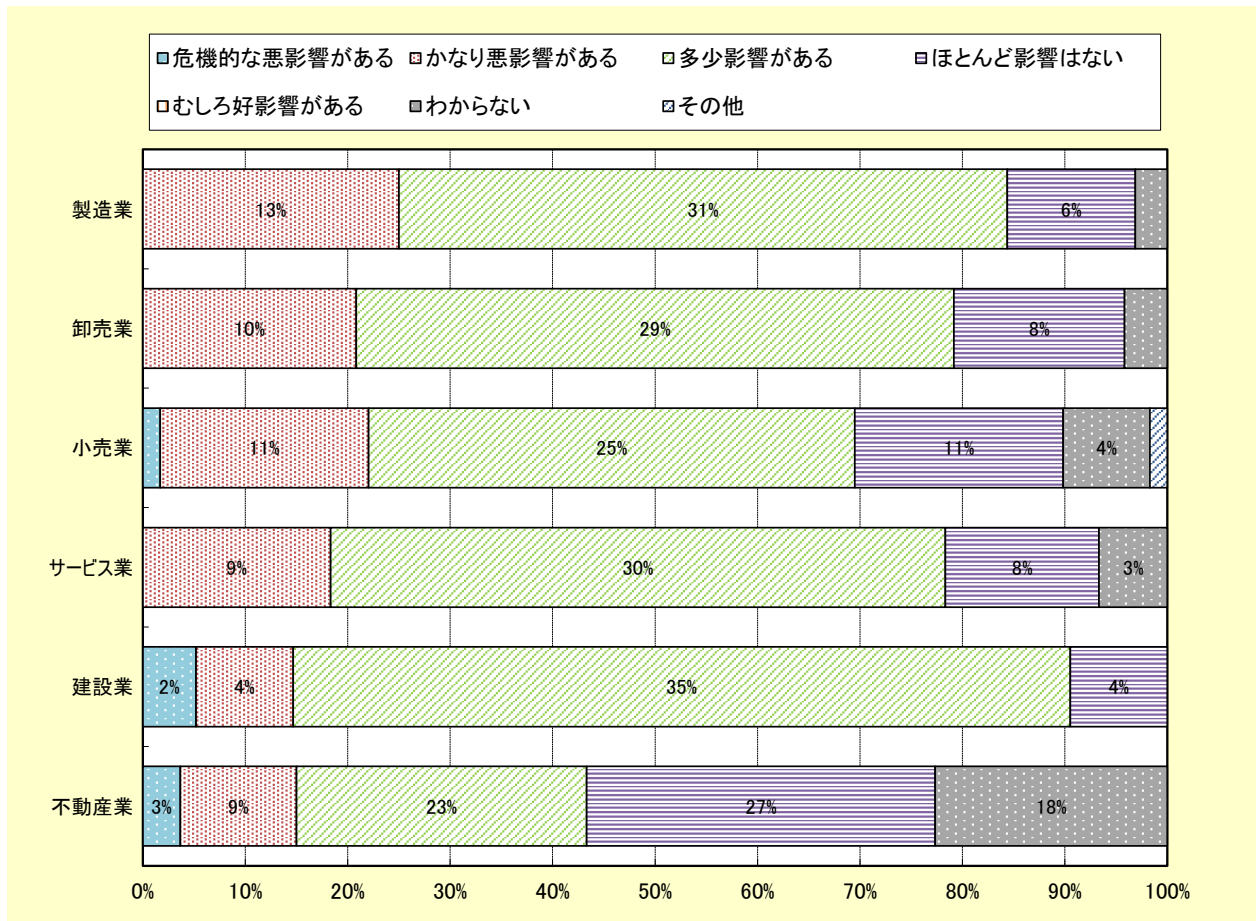
- 原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰
- エネルギー以外の価格高騰
- 原材料の仕入れ不可能
- コロナ長期化による需要急減
- 人手不足、人件費上昇
- 日本と諸外国との関係
- 米中貿易摩擦
- 戦争、紛争がもたらす社会不安
- その他
- 特に懸念しているものはない



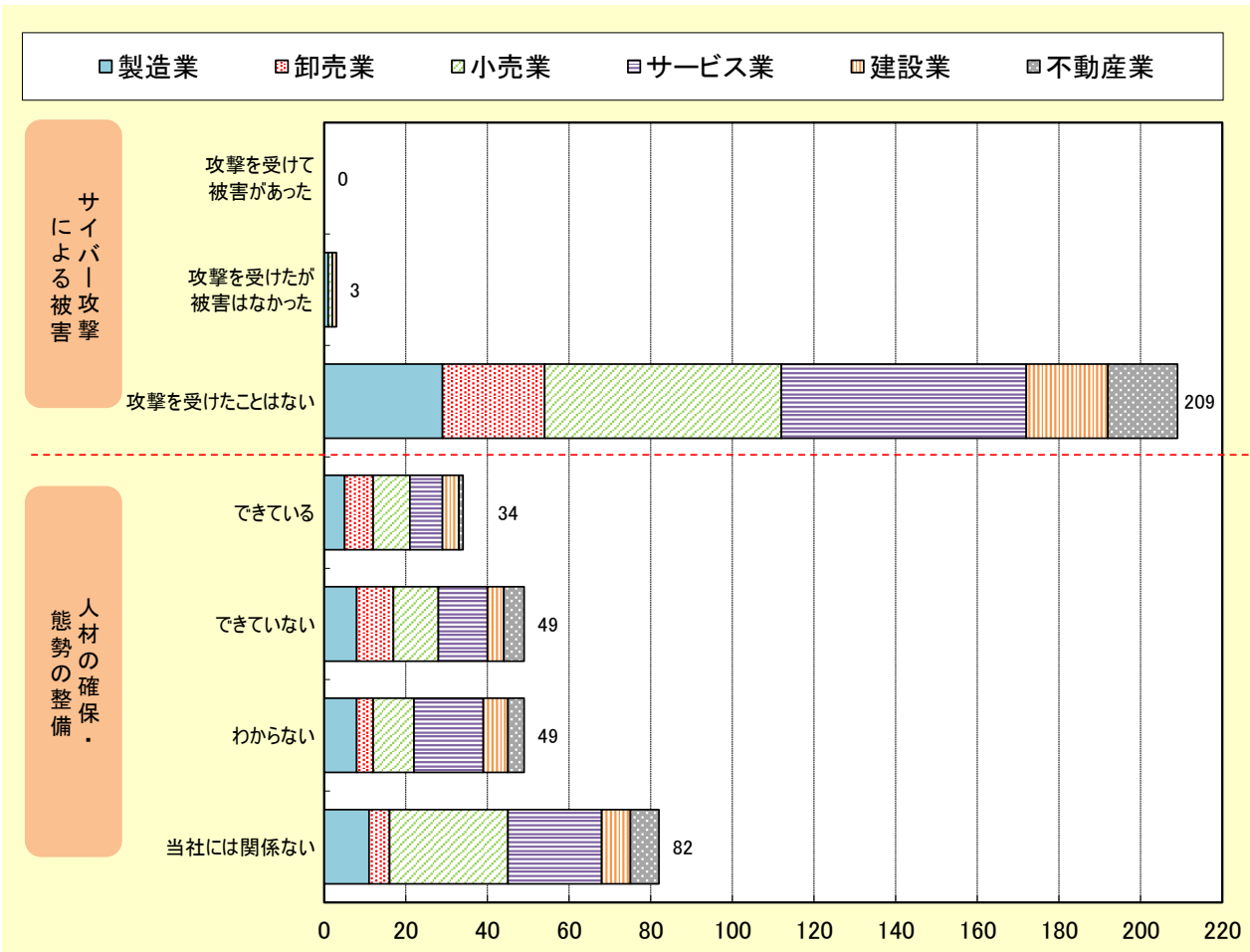
問2. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。また、今後省エネにつながる設備投資を実施する予定がありますか。

- 製造業
- 卸売業
- 小売業
- サービス業
- 建設業
- 不動産業





問3. 貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。



問4. 貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合、実施しなかった場合の理由についてもお答えください。

